



## モスクワより

日本航空 モスクワ支店 小町谷 祐子

ロシアの食べ物と言えば、ボルシチ、ピロシキ、ロシア紅茶を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。ボルシチはビーツ（赤カブ）がメインのスープ、お味噌汁のように本来は家庭料理で、家庭各々のレシピがあります。ビーツが簡単に手に入らない日本では、家庭で食するのは難しいかもしれません。日本でピロシキと言えば、中に肉等が入っている揚げたパンですが、本物のピロシキは焼いたもので（揚げたものもありますが）、中身は卵、キャベツ、米、魚、肉、ジャム等いろいろな種類があります。街中の屋台で売っていて、小腹がすいた時にちょっとつまむおやつといったところです。ロシア紅茶と言えば、ジャムの入った紅茶と違っていらっやいませんか？ 実は、ジャムは紅茶に入れるのではなく、小皿においてスプーンで食べながら紅茶を飲むのがロシア紅茶です。

最近のモスクワではカプチーノ等コーヒーが人気ですが、紅茶に限らずモスクワの食生活は激変しており、日本食が大ブームです。日本食レストランに限らず、ロシア・イタリア・中華等ほとんどのレストランのメニューに「すし」があります。巻物が主流ですが「にぎり」もあります。大型スーパーで購入することも可能です。高級食品とも言える「すし」ですが、ロシアの健康ブームに乗ったということでしょうか。日本航空は

2007年12月に、モスクワでの空港をシェレメチェボから、より近代的でサービスの良いドモジドボに移転したのですが、ここのVIPラウンジの「すし」はなかなかのもので。ただし、お値段の方もなかなかですが。

さて、厳寒のモスクワでの冬の楽しみは何かと尋ねられることがあります。まず第一は、観劇・音楽鑑賞でしょうか。日本ではあまり馴染みのないオペラ、クラシックコンサートがモスクワではとても身近なのです。子供達が正装して音楽会に来ているのを目にすると、日本とは文化環境が違うことを実感します。第二は、スケート・スキーでしょうか。公園に氷をはってスケート場にしたり、「赤の広場」に架設のスケート場を作ったり、誰もが気軽に楽しめるようになっています。森ではスキーを楽しむ人々もいます。ちょっと寒さを我慢して、銀世界の公園を散歩するのも楽しいですし、道行く毛皮で着飾った人々を觀賞するのも楽しいものです。寒さ知らずで楽しめるのは、市内観光コースにも組み込まれている地下鉄駅巡りです。冷戦時代に防空壕として作られたと言われていましたが、地下宮殿とも言われ、古い駅は様々な趣向がこらされており、美術館のようです。

ちょっと遠く感じられるロシアかもしれませんが、楽しみ満載のモスクワで皆様をお待ちしています。



日本食、なかでも「すし」がブーム



クレムリン、聖ワリシー大聖堂と赤の広場